

技術・情報名	蚕座内への送風による初・晩秋蚕5齢期の飼育環境改善法		
実施機関名	三重県農業技術センター蚕業部	分類	2

1. 技術・情報の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

夏秋蚕期においては4・5齢桑葉を無除沙で飼育しているが、5齢中期頃から蚕糞、蚕沙が腐敗して蚕座が蒸れ、その蒸熱等が蚕児の発育に悪影響を与え、死ごもり繭が多発している。そこで、死ごもり繭防止対策として蚕座内に「コルゲート管」を敷設してこれに送風機で送風し、蚕座内の蒸熱を排出し換気を図ることによって健康歩合の向上を図ることをねらいとした。

- (1) 本装置の機械は100v、200wの強制送風機（吹出口の排風量、毎秒0.06m³）と空気溜箱（150×20×20cm）0.06m³ コルゲート管（穴あきパイプφ8cm長さ4m）10本をセットした（飼育蚕架巾、1.5m長さ20m）。
- (2) 5齢2日目に同上のパイプを蚕座上に敷設して送風を開始し、上蔭終了まで行った。
- (3) 蚕座内に送風しているため1日1回給桑として、桑葉の乾燥を防ぐために寒冷紗を被覆した。
- (4) 送風を利用し1日間隔で消石灰を蚕座に散布した（1蚕期2～3回、1回1kg）。

2) 技術・情報の適用効果

- (1) 初秋蚕期において健康歩合が顕著に高くなった。（表1）
- (2) 1日1回給桑でも作柄が安定していて、給桑労力の節減も可能となった。

表1. 飼育データ (5ヶ年間平均)

蚕期別	試験区	飼育経過 日 時	簇中 死歩合 %	取繭量 kg	1立 粒数 粒	健康 歩合 %	繭重 g	繭層 歩合 %	
初秋蚕期	対照区 (1日2回給桑)	7.00	5.0	16.5	84	91.0	1.87	23.1	
	送風	A区(1日2回給桑)	7.00	3.5	16.8	84	94.5	1.88	23.4
		B区(1日1回給桑)	7.09	3.1	16.7	86	95.0	1.86	23.1
晩秋蚕期	対照区 (1日2回給桑)	7.08	1.9	17.1	82	94.8	1.85	23.7	
	送風	A区(1日2回給桑)	7.08	1.5	17.0	80	95.2	1.82	23.7
		B区(1日1回給桑)	7.08	1.6	16.6	79	93.5	1.82	23.9

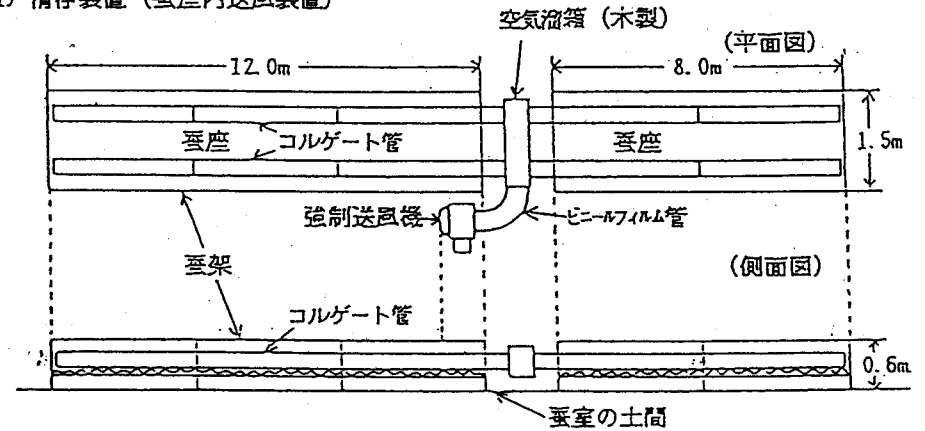
本装置は寒冷期の蚕期においては蚕座の暖房にも汎用出来る。

3) 普及・利用上の留意点

1日1回給桑育する場合は蚕の飼育密度を上げないこと（900頭/m²まで）。

・ 具体的データ (図・表)

1) 清浄装置 (蚕座内送風装置)



・ その他特記事項

研究課題名： 仕蚕期の飼育蚕座の清浄化に関する試験

研究期間： 昭和60年～平成2年 予算区分： 県単

研究担当者名： 鈴木保次